

市民公開講座

在宅でできること

～がんに罹患しても自分らしく過ごすために～

入場
無料

定員
240名

プログラム

◆開会の挨拶 (13:00～13:05)

武田 純三

(慶應義塾大学医学部 客員教授)

◆基調講演 (13:05～14:00)

「在宅でできること」

和田 忠志

(医療法人 実幸会 いらはら診療所 在宅医療部長)

◆シンポジウム (14:10～16:00)

「がんに罹患しても
自分らしく過ごすために」

座長：白波瀬 丈一郎

(慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室)

I. 音楽療法

伊藤 マミ

(聖路加国際病院 音楽療法士)

II. マインドフルネス

佐渡 充洋

(慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室)

III. リハビリテーション

大森 真以子

(慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室)

◆閉会の挨拶

橋口 さおり

(慶應義塾大学病院緩和ケアセンター センター長)

問い合わせ先

慶應義塾大学 信濃町キャンパス
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
Tel : 03-5363-3662/3665 (受付時間: 平日8:30～17:00)
Email : ganpro-jimushitsu@adst.keio.ac.jp

日時

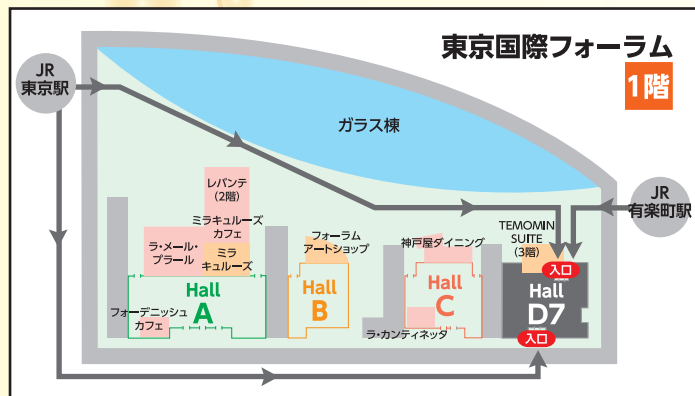
2014年2月15日(土)
13:00～16:00 (12:30開場)

場所

東京国際フォーラム
ホールD7

がん医療は進歩し、今では多くの抗がん剤治療が外来
通院で行われるようになったため、在宅で過ごす時間も増
えています。がんになっても自分らしく過ごすための工夫。
まずは在宅医療をうまく利用することです。そして、さらに
自宅で自分自身やご家族でできることもあります。音楽をう
まく取り入れたり、リハビリテーションや、マインドフルネスと
いう、気持ちを落ち着ける方法もあります。これらの方法
は、患者さんのQOL (Quality of Life: 生活の質) を向上さ
せるために、実際の医療現場でも応用されているもので
す。それぞれの分野の第一線で活躍している医療者が、
在宅でも自分らしく過ごすための方法をご紹介します。

アクセス



- JR線 有楽町駅より徒歩1分
東京駅より徒歩5分 (京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)
- 地下鉄 有楽町線 有楽町駅 (B1F地下コンコースにて連絡)
日比谷線 銀座駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩5分
千代田線 二重橋前駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩7分
丸ノ内線 銀座駅より徒歩5分
銀座線 銀座駅より徒歩7分/京橋駅より徒歩7分
三田線 日比谷駅より徒歩5分